

記述による目撃記憶の想起促進： 目撃者遂行型調査の効果の検討

松尾 加代

(慶應義塾大学先導研究センター)

三浦 大志

(杏林大学保健学部)

目撃記憶

1. 忘却

2. 事後情報効果：

目撃後の情報による記憶の変容

> 目撃者同士の会話

> マスコミ

> 捜査官との面接

目撃後、出来る限り早く報告する必要

目撃記憶を引き出す面接技法

認知インタビュー (Fisher & Geiselman, 1992)

- より正確な記憶をより多く得る事を目的に開発
- 目撃者の記憶の想起を促進させるための技法

> 時間的コスト: 面接するまでの時間

面接の時間

> 人的コスト: 面接官の育成

捜査員の数

目撃者遂行型調査

- Self-Administered Interview© (SAI ©)

(Gabbert, Hope, & Fisher, 2009)

- 認知インタビューを基盤に開発
⇒ 正確な目撃記憶の獲得

- 質問紙形式

- 複数の目撃者に配布
- 目撃者自身が目撃内容を記述

- ドイツ語 オランダ語 ノルウェー語など
- 日本語版の作成

時間的/人的コスト
大幅に節約

7つのセクション

- ① 何が起こったのか
- ② 人物
- ③ 現場（スケッチ）
- ④ その他の目撃者
- ⑤ 車や乗り物
- ⑥ 目撃の程度
- ⑦ その他



各セクションに教示

過去の研究

他の手法（自由再生）と比較して

1. 記憶成績がよい (Gabbert et al., 2009)
2. 忘却を防ぐ（正記憶量の保持） (Hope et al., 2014)
目撃直後SAIに回答 → 1週間後に再想起
3. 事後情報に汚染されにくい
(Gabbert et al., 2012; Paterson et al., 2015)

研究 I

(Matsuo & Miura, 2017)

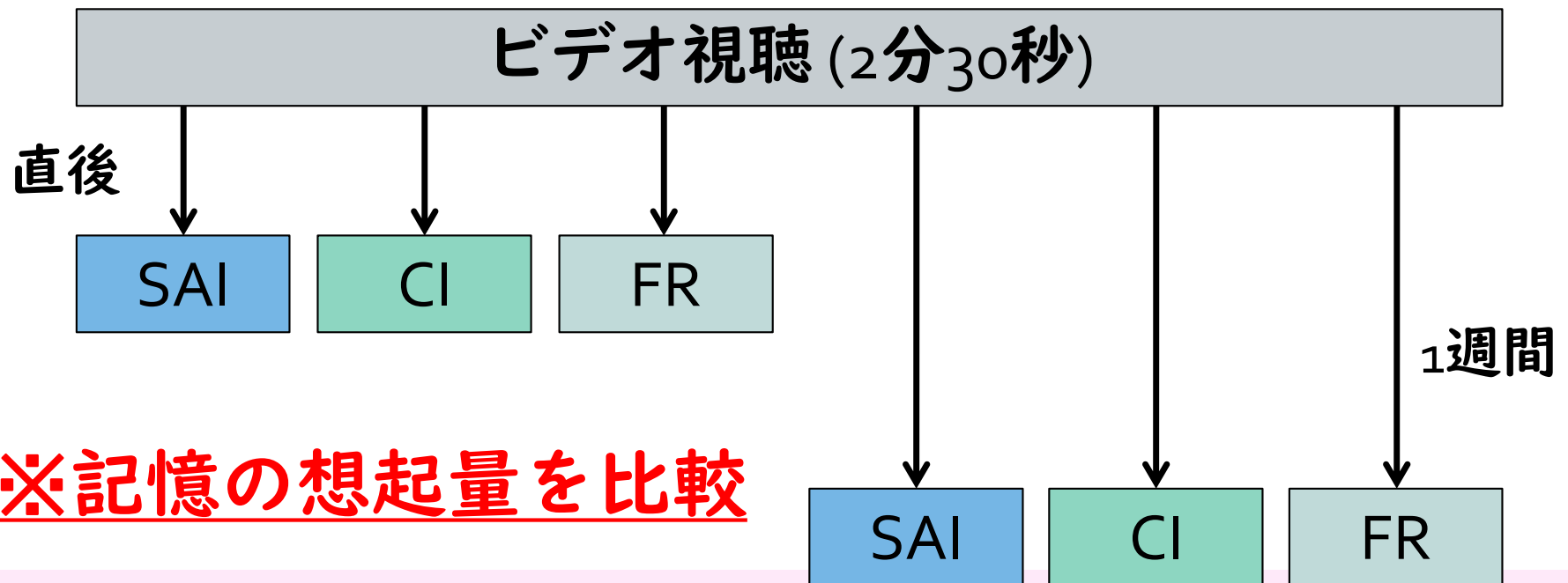
- SAIの日本語版(目撃者遂行型調査)を作成し、その効果を検討
- 実験参加者：180名（大学生、大学院生）
（男78名、女104名；18-58才 (M=22.1)

方法

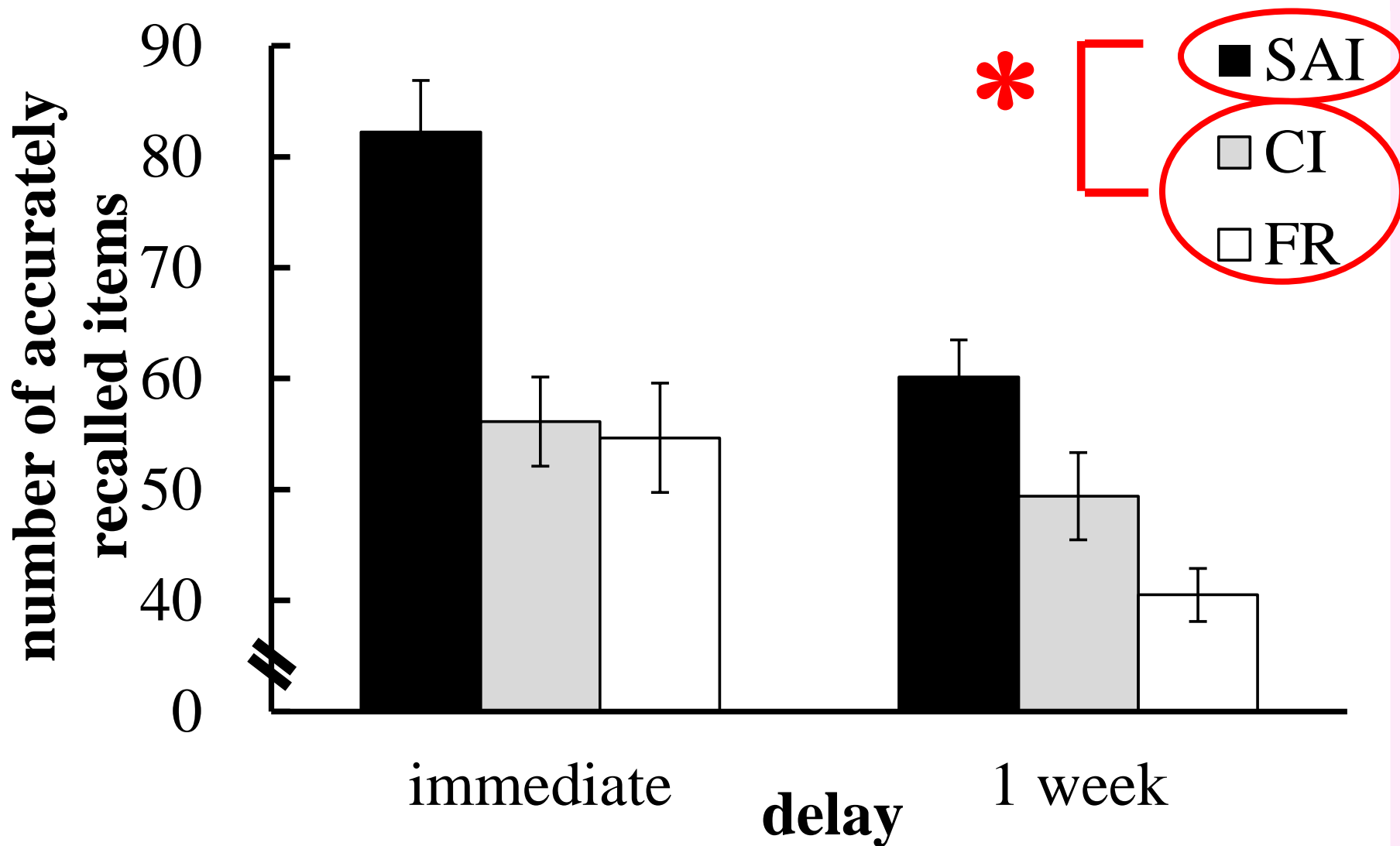
• 実験計画：2×3

時間 (直後, 1週間)

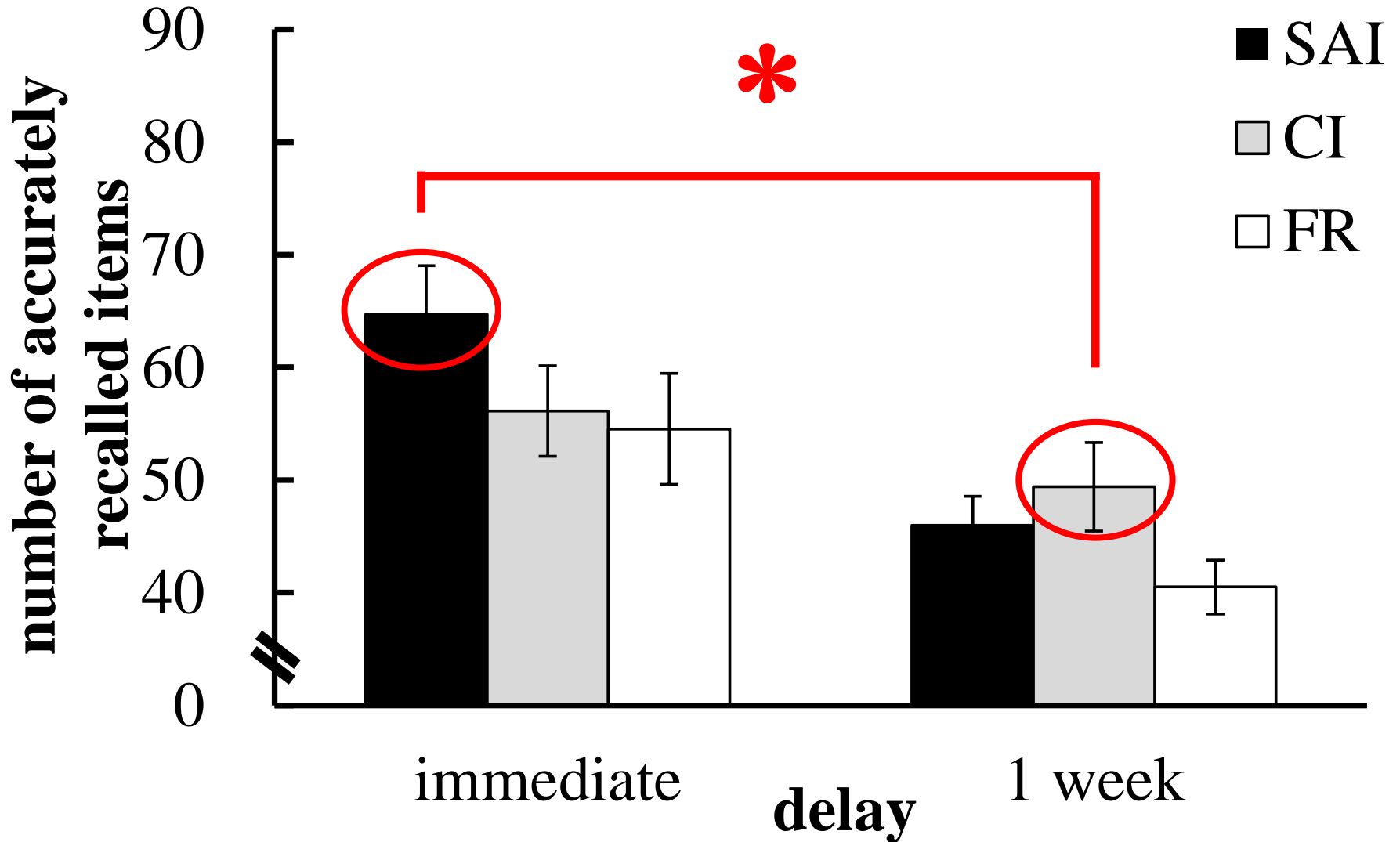
再生方法 (目撃者遂行型調査: SAI,
認知インタビュー: CI, 自由再生: FR)



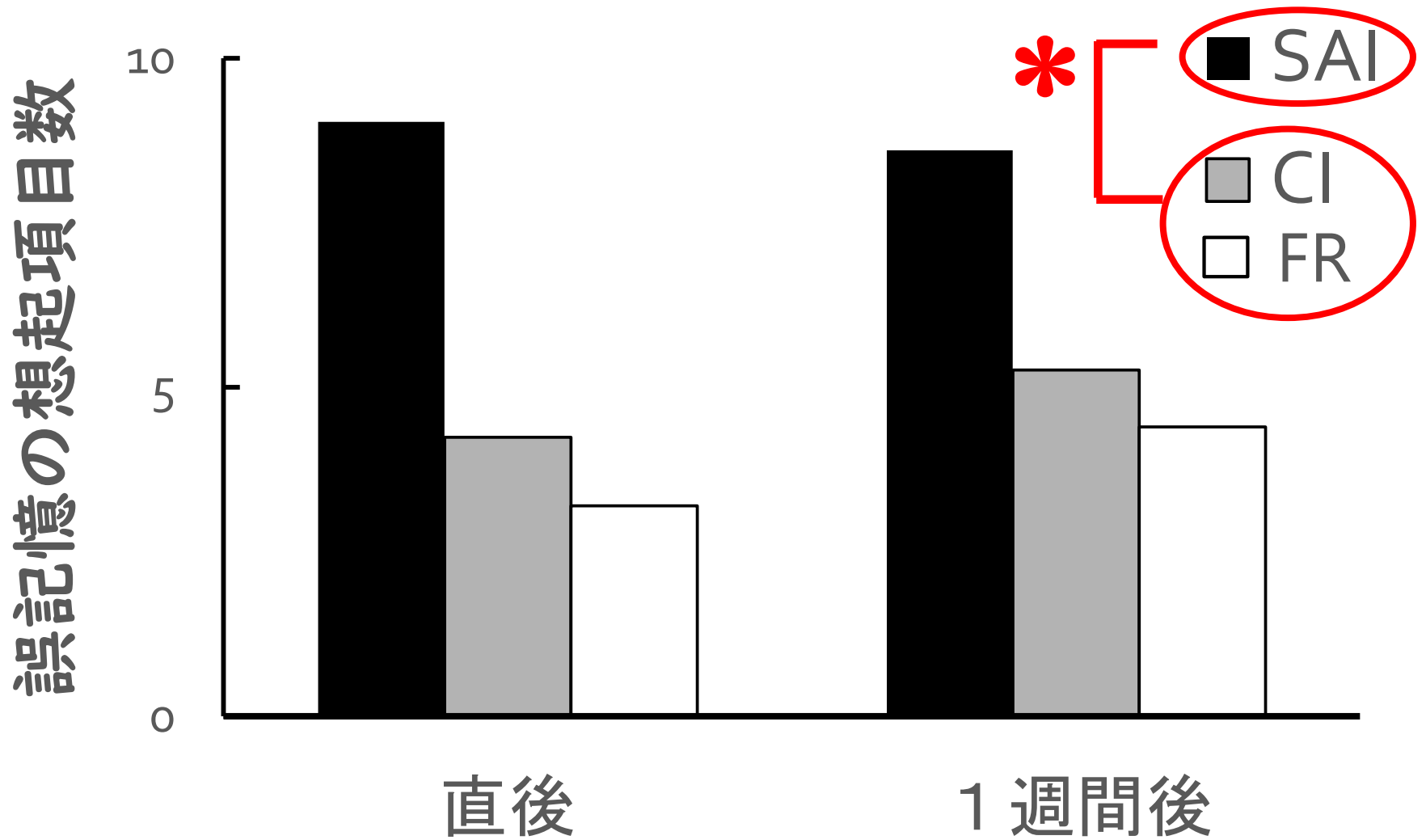
正確な記憶の想起



スケッチを除いた場合



誤記憶の想起



考察

1. 目撃者遂行型調査による記憶の想起の促進
2. スケッチによる記憶の想起の効果
3. 直後の目撃者遂行型調査は、1週間後の認知インタビューより記憶の想起量が多い
4. 誤記憶の想起も増える

研究 2

(Miura & Matsuo, 準備中)

SAIによる記憶の想起と保持の促進は

SAIで使われている教示による効果？

または

報告方法（記述）による効果？

過去の研究². (Hope et al., 2014)

目撃直後SAIに回答 → 1週間後に再想起

書くまたは話す

- SAI: 記述による報告
 - 面接: 口頭による報告 (発話)
 - ◆ 発話の効果 (Forrin, MacLeod, & Ozubko, 2012)
単語の再認テスト (発話 > 記述)
 - ◆ 記述の効果 (Naka & Takizawa, 1990)
無意味綴り、図形の自由再生テスト
- 目撃記憶はどうだろう?

目的

- SAIの効果は「書く」ことによるものか、「教示」によるものか
- SAIの教示を使い、報告の方法を比較検討
- 実験参加者：97名（大学生）
（男₃₀名、女₆₇名；18-26才）

方法

• 3 群

-- SAI-記述 (33):

SAIに記述で報告

-- SAI-口頭 (30):

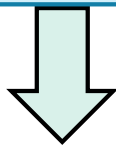
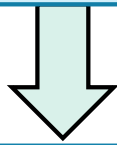
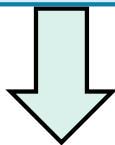
SAIの教示を使って面接

-- 自由再生-口頭 (34):

自由再生による面接

手続き

ビデオ視聴 (2分30秒)



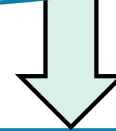
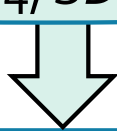
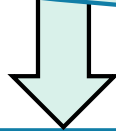
想起
1

SAI-記述

SAI-口頭

自由再生-
口頭

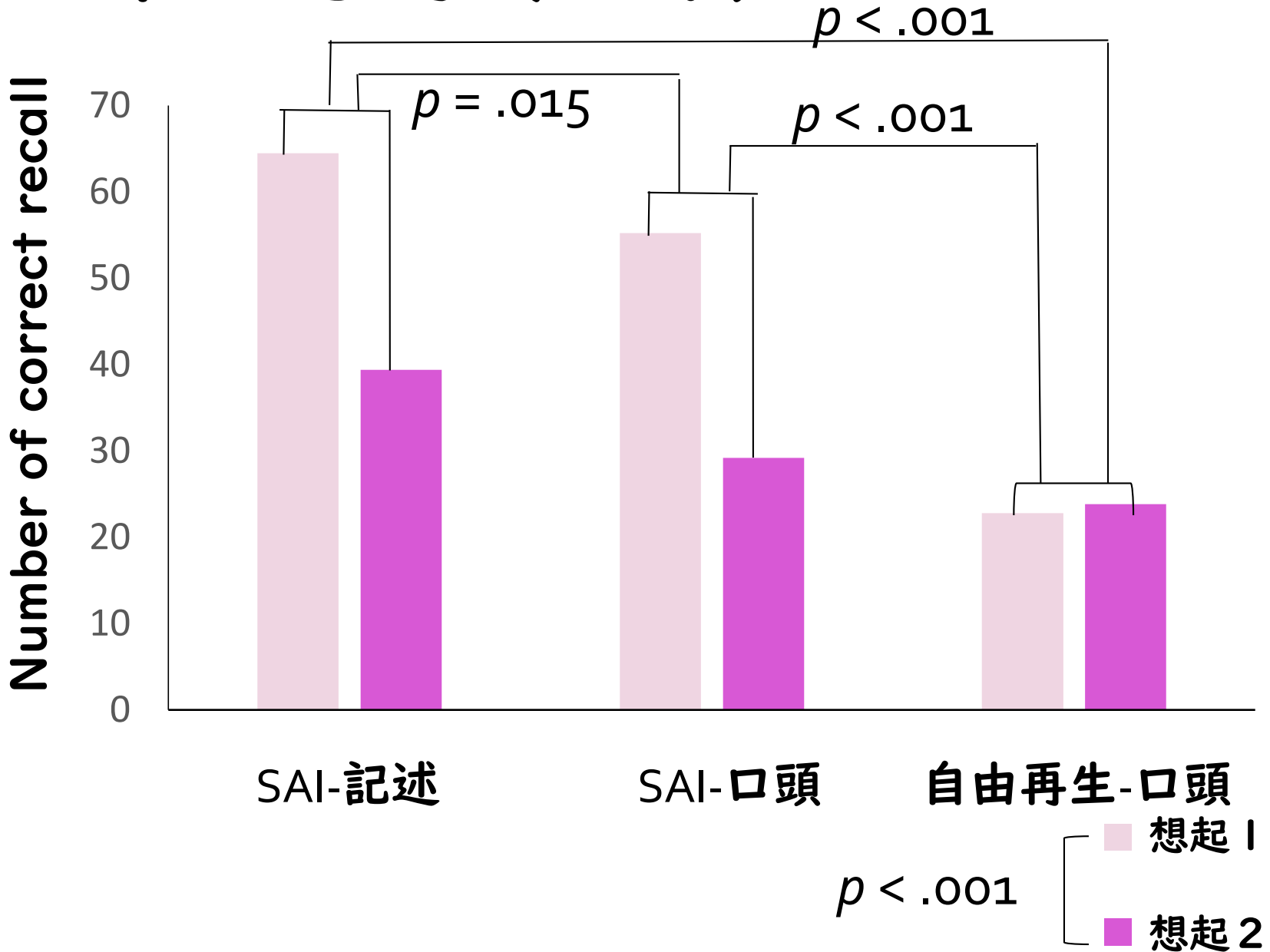
遅延 (6-8 日)
($M = 7.04, SD = 0.32$)



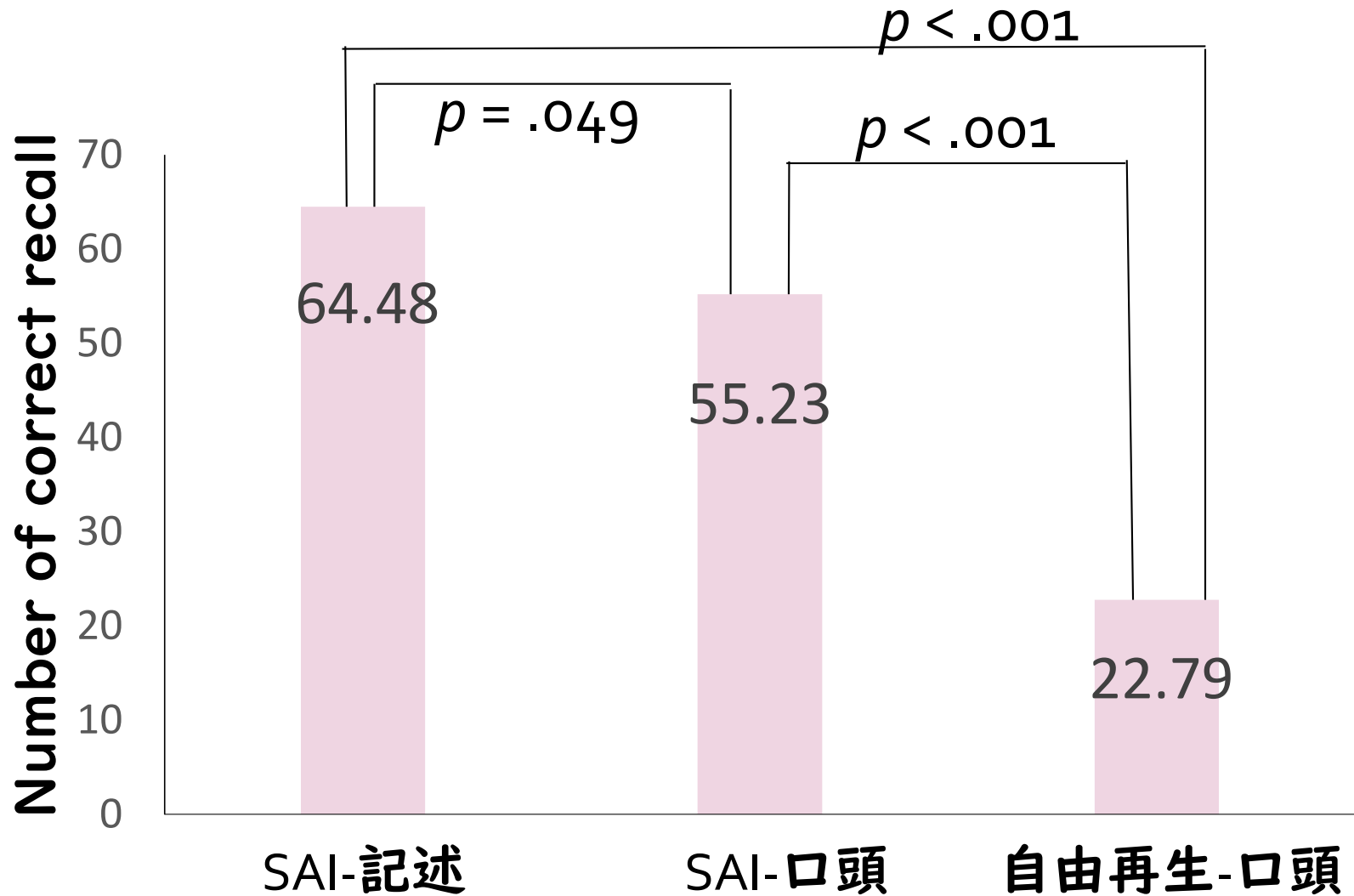
想起
2

自由再生
口頭

正確な想起（全体）

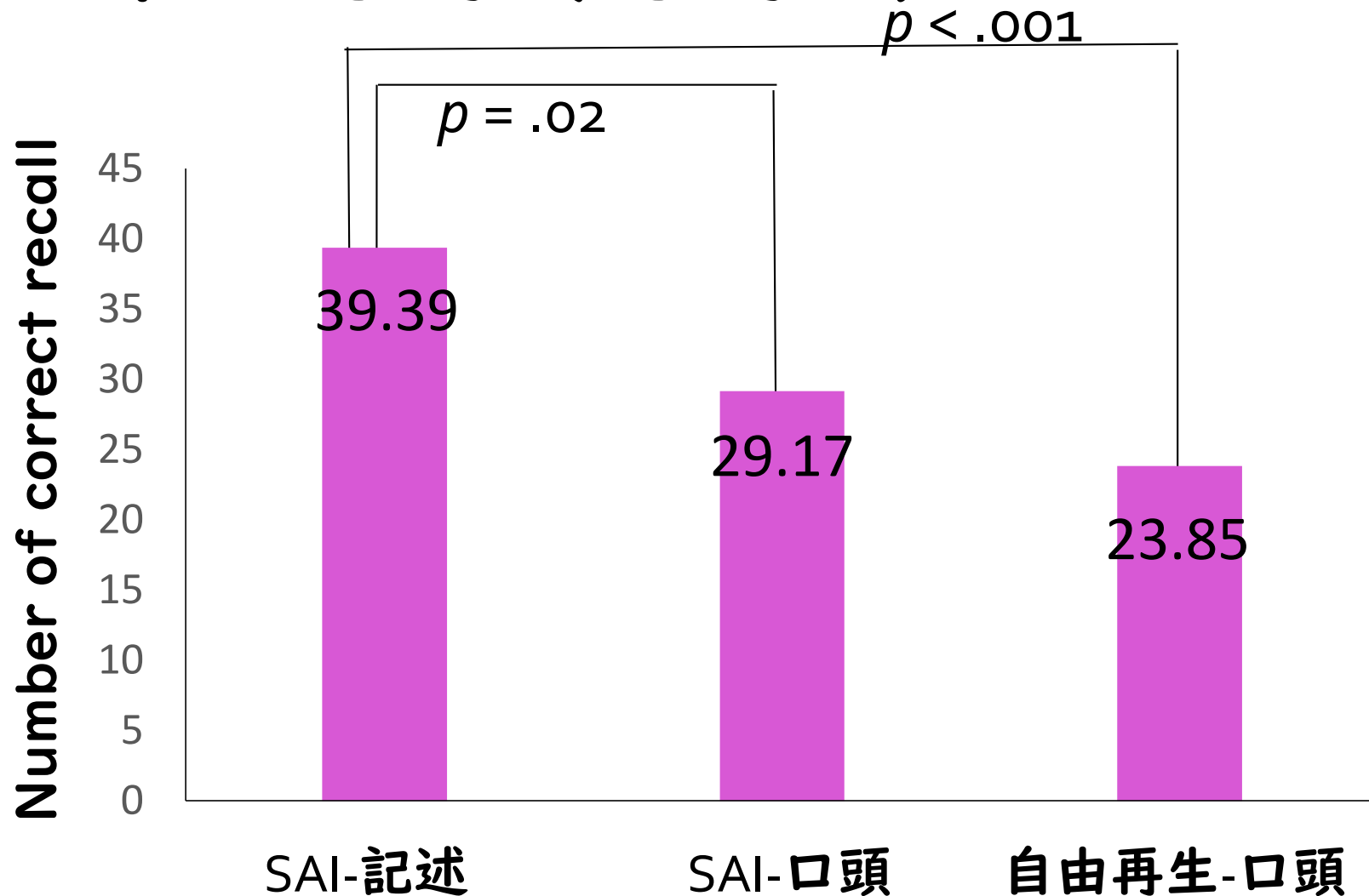


正確な想起 (想起 I)



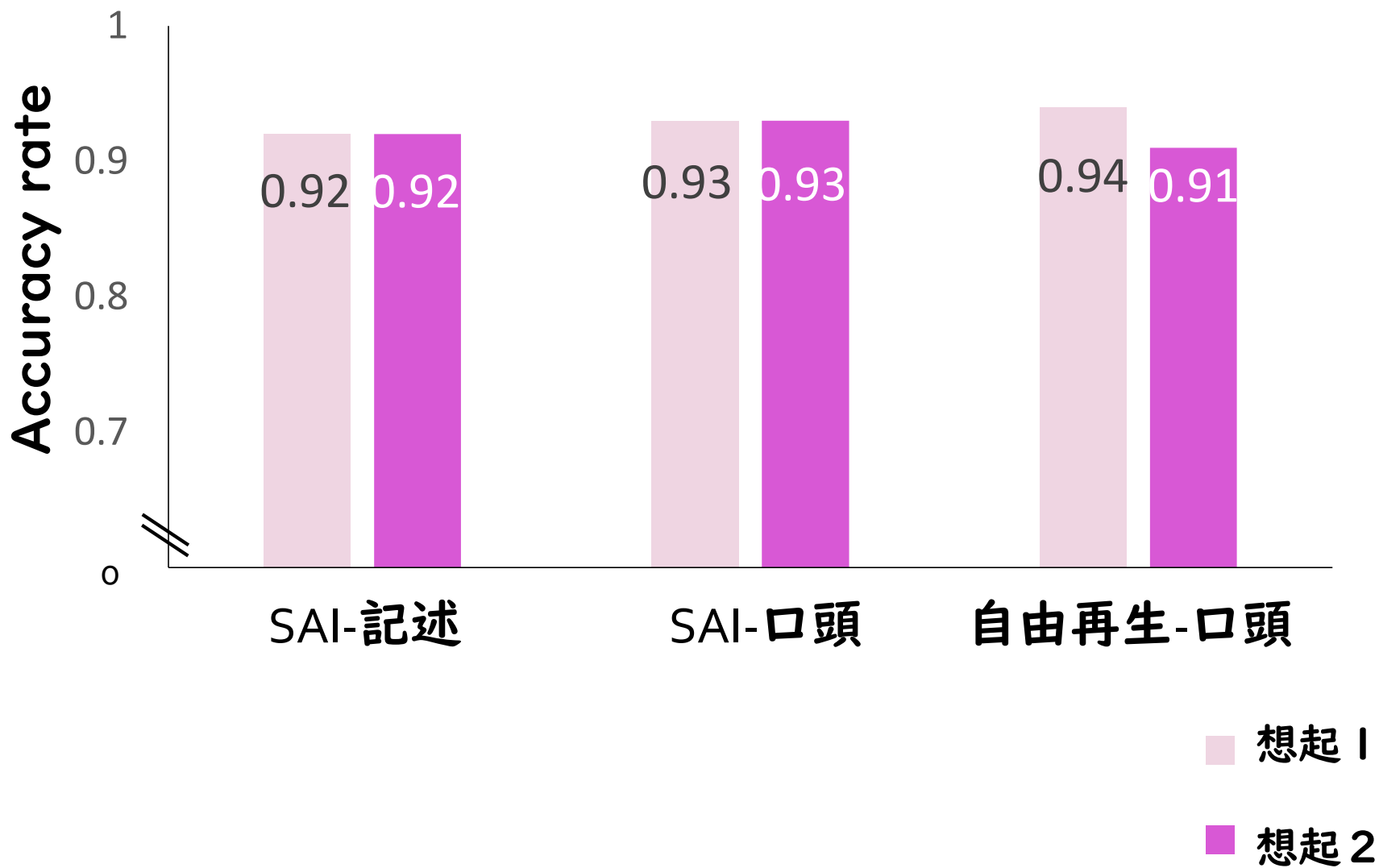
$F(2, 94) = 67.99, p < .001$

正確な想起 (想起2)



$F(2, 94) = 9.75, p < .001$

正答率



考察

- 想起 1 : SAI-記述 > SAI-口頭 > 自由再生-口頭
➡ SAIの教示および記述による報告の両方が記憶の想起に影響を及ぼす
- 想起 2 : SAI-記述 > SAI-口頭 = 自由再生-口頭
➡ 記述が記憶の保持に影響を及ぼす
- 正答率 : 違いなし
➡ 想起量増えることで記憶の質が悪化することはないかもしれない

考察

目撃者遂行型調査：質問紙

- 自分のペースで記述

- 警察官がいないことで社会的圧力が軽減
- 書いている間にさらに記憶を想起する可能性（書くことは時間が必要）
- 初めの想起が発話より記述の方が、記憶をより良く保持できる可能性

目撃者遂行型調査

- イギリス警察の捜査で導入
- 大事件・大事故
- 面接者を選択するための、スクリーニングの役割としても機能
- 日本の現場でも役立つ可能性

今後 日本におけるさらなる検討が必要